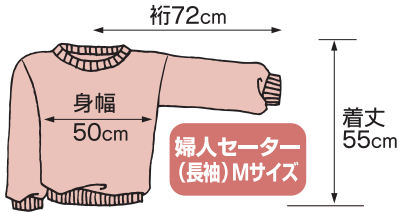


着分使用量のカンタン割出法

★標準使用量とは・・・？

例えば婦人セーターMサイズ(下図参照)をメリヤス編み、標準ゲージで編んだ場合のg数をいいます。紳士・子供の場合も同様です。



※針の太さを2号変えると編み地が1割増減し、それによって使用量も1割増減します。(針を細くすると糸の使用量はふえます。)

例) .10号で500gのとき
8号→550g
12号→450g となります。

★サイズ別使用量の変化(単位cm)

	身幅	衿	着丈	使用量のめやす
婦人Sサイズ	46	69	53	婦人Mサイズの1割減
// Mサイズ	50	72	55	標準使用量
// Lサイズ	52	75	58	婦人Mサイズの1~1.5割増
紳士Mサイズ	53	79	66	// 2割増
// Lサイズ	55	82	70	// 4割増
子供(7~8才)	38	50	40	// 3~4割減

※模様編み、袖の型、袖の長さ、デザインなどにより使用量は変化します。面積にほぼ正比例します。

★模様編みによる使用量の変化

	合太・並太・極太・超極太タイプ	極細・合細・中細タイプ
かの子編み	メリヤス編みの3割増	メリヤス編みの2割増
ガーター編み	// 4割増	// 2割増
透かし編み	// 同量	// 同量
アラン編み	// 5~6割増	// 4~5割増

★2本どりで編むときの使用量etc.

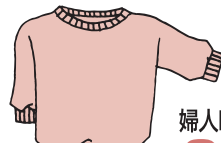
極細~中細タイプ・・・標準使用量の約1.5倍
合太~超極太タイプ・・・標準使用量の約1.6倍~1.8倍
(ゲージや模様の入れ方で変わってきます。)

Check!

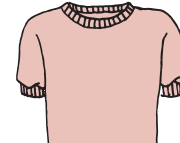
- ★使用棒針は合太までなら2号太くするくらいです。
- ★並太の場合は13~15号くらいです。
- ★極太なら8mm~10mmくらいです。

※必ずゲージを編んで号数は決めて下さい。

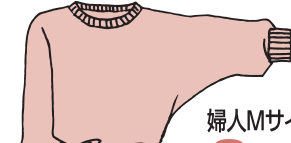
★袖の型、長さによる使用量の変化



婦人Mサイズセーターの
0.5割減
〈七分袖〉

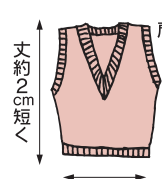


婦人Mサイズセーターの
1割減
〈半袖〉

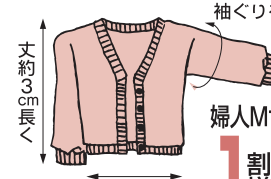


婦人Mサイズセーターの
2~2.5割増
〈ドルマリンスリーブ〉

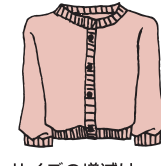
★セーターに対するベスト・カーディガンの使用量の変化



婦人Mサイズセーターの
3.5~4割減
〈Vネックベスト〉



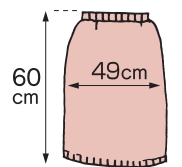
婦人Mサイズセーターの
1割増
〈Vネックカーディガン〉



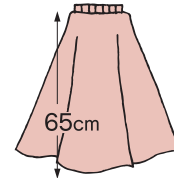
婦人Mサイズセーターの
1.5割増
サイズの増減はVネックカーディガンと同じ
〈丸首カーディガン〉

★レディースアイテムによる使用量の変化

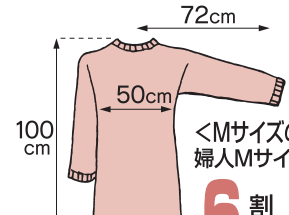
$$49\text{cm} = \left(\frac{90(\text{ヒップ})}{2} + 4\text{cm}[\text{ゆるみ}]\right)$$



〈Mサイズのタイトスカート〉
婦人Mサイズセーターの
0.5~1割減
スカート丈はベルトまで含む



〈Mサイズのフレアスカート〉
婦人Mサイズセーターの
2~3割増



〈Mサイズのワンピース〉
婦人Mサイズセーターの
6割増

★ラメや添え糸などを引き揃えて編むときの使用量etc. ★マフラーの使用量の算出方法

基本的には引き揃える糸同士の長さにあわせませんが、伸びのある糸とない糸では少し違ってきます。
ラメなどの添え糸は伸びませんので、伸びのある毛糸より約5~10%余分に必要です。

Check!

例) .50gで100mの糸が10玉いるとき
100m×10玉=1,000m・・・毛糸の総m数
1,000m×1.05=1,050m・・・添え糸の使用量

使用針は添え糸の糸の太さにもよりますが、好みにより、針を1号太くしてもよいでしょう。

	幅	長さ	メリヤス編み
婦人サイズ	18	150	各ベストの半分量
紳士サイズ	20	180	
子供サイズ	16	120	

※例えば婦人ベストが300gの場合
半分150g。
1目ゴム編みの場合はメリヤス編みの2割増。

(単位cm)